

平成 23 年 10 月 13 日

国公立大学図書館長 殿

国公立大学図書館協力委員会委員長  
筑波大学附属図書館長 波多野 澄雄

国公立大学図書館協力委員会・日本図書館協会大学図書館部会主催  
平成 23 年度大学図書館シンポジウムの開催について（ご案内）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
この度、標記シンポジウムを下記のとおり開催致しますので、貴図書館よりご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. テーマ： 大量デジタル化の先にあるもの

—開催趣旨—

図書館資料の中で電子ジャーナル、電子ブックなどの電子資源が占める割合は年々高くなっており、国立国会図書館において大規模デジタル化が進められるなど、国内における蔵書全体のデジタル化はもはや絵空事ではなくなってきています。欧米においては、Google 図書館プロジェクトによって蔵書の大量デジタル化が急速に進み、紙資源の共有（Shared Print）プロジェクトが立ち上がるなど、すでに大きな変化が起きています。

デジタル化資料が当たり前になってきた大学図書館の世界では、今後何が起こるのでしょうか。このシンポジウムでは、米国の状況を踏まえ、日本における現状と課題を整理・共有しながら、今後の展望について考察していきたいと考えています。

午前の部では、米国での現況と展開について招聘講師による講演を行います。午後の部では、国内外の識者によるパネルディスカッションを行い、今後「紙」媒体の資料がどうなっていくのか、図書館経営の面はどうあるべきかなど、様々な視点から議論します。

2. 期 日： 平成 23 年 11 月 11 日(金) 10:30 ～ 17:00

3. 募集人員： 200 名（先着）

4. 参加費： 無料

5. 会 場： 第 13 回 図書館総合展・学術情報オープンサミット 2011 第 8 会場  
パシフィコ横浜 展示会場内

アクセス： <http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>

※なお、図書館総合展放送局による Ustream 配信を行う予定です。URL 等の詳細につきましては、後日ご案内申し上げます。

6. プログラム :

- \* 受付 10 : 00~10 : 30  
\* 挨拶 10 : 30~10 : 35

国公立大学図書館協力委員会委員長館  
日本図書館協会大学図書館部会部会長校  
筑波大学附属図書館 副館長

逸村 裕 氏

【第1部】米国における現況と今後の展開 (仮題)

- \* 基調講演 : 10 : 35~11 : 20  
OCLC 副会長 Research Library Partnership 担当 James Michalko 氏

- \* 講演1 : 11 : 20~12 : 05  
インディアナ大学図書館長 Brenda Johnson 氏

<休憩> 12 : 05~12 : 15

- \* 講演2 : 12 : 15~13 : 00  
WEST プロジェクト・マネージャー/Shared Print コンサルタント Lizanne Payne 氏

<昼休み> 13 : 00~14 : 30

【第2部】パネルディスカッション

- \* ショートコメント 「日本の現況と課題整理 (仮題)」 14 : 30~14 : 45  
名古屋大学附属図書館 事務部長 加藤 信哉 氏

- \* パネルディスカッション 14 : 45~16 : 45  
コーディネーター 千葉大学附属図書館長 竹内 比呂也 氏  
パネリスト OCLC 副会長 Research Library Partnership 担当 James Michalko 氏  
インディアナ大学図書館長 Brenda Johnson 氏  
WEST プロジェクト・マネージャー Lizanne Payne 氏  
名古屋大学附属図書館 事務部長 加藤 信哉 氏  
国立国会図書館 電子情報部電子情報企画課長 田中 久徳 氏  
大学評価・学位授与機構 教授 土屋 俊 氏

<終了> 17 : 00

7. 参加申込

お申込・お問合せ先 :  
国公立大学図書館協力委員会 シンポジウム企画・運営委員会  
事務局担当 関 秀行 sympo-jimukyoku@lib.keio.ac.jp

以 上